



ゴールデンウィーク 受け付け業務案内

	4月27日 (土曜日)	28日 (日曜日)	29日 (月曜日)	4/30~5/2	3日 (金曜日)	4日 (土曜日)	5日 (日曜日)	6日 (月曜日)
受付日	×	○	×	通常業務	○	×	○	×

【新型コロナウイルス感染症に関わる休日剖検の対応】

剖検申し込みの際は、2020年12月24日発行ニュースレターでお伝えした「COVID19感染状況下における剖検対応について」に準じ、

- (1) 新型コロナウイルス感染症で入院されていた場合
- (2) 臨床的に新型コロナウイルス感染が疑われる、もしくは否定できない場合
- (3) 臨床的に症状がなく、新型コロナウイルス感染の可能性がないか、ほぼないと判断される場合などで、対応（PCR検査の有無の確認など）が異なり、通常時より、剖検開始までに時間がかかる場合やその日に行えない場合もあります。

剖検に関しての遺族への説明の際は、そのことも含めてお伝え下さいますようお願い申し上げます。

病理検体提出についてのお願い

【平日の場合】

受付時間：8:30~17:15 連絡先：2257（内線）

※原則時間外の提出は受付していません。

時間外の検体提出時は事前に電話連絡をお願いします。連絡が取れない場合は、ホルマリンに入ったものは室温保存、細胞診検体は冷蔵保存し、翌日の受付時間内（8:30~17:15）に提出してください。

【休日の場合】

受付時間：8:30~ 15:00 連絡先：2257（内線）18218(PHS)

※原則時間外の提出は受付していません。

時間外の検体提出時は事前に電話連絡をお願いします。連絡が取れない場合は、ホルマリンに入ったものは室温保存、細胞診検体は冷蔵保存し、翌日の受付時間内（8:30~17:15）に提出してください。

※胆汁・腓液・髄液などの細胞診検体は細胞が変性しやすいため検査不能となる可能性があります

杉本真技師が、認定病理検査技師試験に合格しました！おめでとうございます。

認定病理技師制度とは、日本臨床衛生検査技師会（日臨技）認定センターが制定している資格制度です。

臨床に関わる病理検査の適切な利用と、検査結果を最大限に診療に反映させるために、専門知識および高度な技術に対応できる検査資格者の育成を図り、病理検査の発展と普及を促進することを目的とします。また、病理検査の精度保証を通して、医療の安全と患者の安心を守り、国民医療の向上に寄与することを目的とします。



新任職員紹介

4月より病理診断部の仲間に加わったスタッフを紹介します。

○ 稲村 健太郎 (いなむら けんたろう) 教授

【略歴】

2002年 東京大学医学部卒業
 東京大学大学院医学系研究科病因病理学専攻博士課程進学
 2003年 がん研究会がん研究所病理部 常勤嘱託研究員
 2006年 博士課程修了（医学博士）
 2009年 がん研究会がん研究所病理部 研究員
 2012年 National Cancer Institute, NIH, USA 日本海外特別研究員
 2014年 Dana-Farber Cancer Institute / Harvard Medical School 博士研究員
 2015年 がん研究会がん研究所病理部 研究員 復職
 2020年 がん研究会がん研究所病理部 主任研究員



【ご挨拶】

これまでは研究所の勤務で大学生と接する機会がなかったので、学生とのふれあいが新鮮です。がん研での経験が長いので、あたらしい環境に慣れるまで、いろいろとご迷惑をおかけするかもしれません。

よりよい病理となるよう、みなさんと協力してやっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 木戸 友梨子 (きと ゆりこ) 臨床助教

今年度より病理診断部に所属することになりました、木戸友梨子です。学生時代からお世話になっている病理診断部の皆様のもとで働くことができ、とても嬉しく思います。慣れないことばかりですが、少しでも患者さんや臨床の先生方のお役に立てるよう頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



○ 亜森 グランバル (あもり ぐらんばる) : 写真左

○ 亜森 マハムット (あもり まはむっと) 助教 : 写真右



臨床検査技師

○ 小室 海翔 (おむろ かいと) : 写真左
 ○ 宮澤 夏帆 (みやざわ かほ) : 写真中央
 ○ 佐々木 玲奈 (ささき れいな) : 写真右